

## 2021年度事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人 鎌倉てらこや

### 1 事業活動方針

任意団体としての活動を引き継ぎ、全国の範となるよう、地域教育を推進させる。

### 2 事業内容

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

##### ① 自然体験活動に関する事業

###### ア 海事業（事業名称：「海 L♡VE かまくら」）

- ・内 容 海という鎌倉ならではの自然環境を存分に生かした、様々な体験を実施する。Save Our Shore（神奈川県海水浴場組合連合会）・鎌倉アウトリガークラブ・鎌倉ライフガードに協力いただきながら事業を展開する。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、定員を1/2にして開催。
- ・日 時 ①10月3日（全1回）
- ・場 所 材木座海岸
- ・従事者人員 20人（学生・大人合計）
- ・対 象 者 小学校1年～中学校3年生とその保護者  
子ども10人
- ・支 出 152,357円

###### イ 鎌倉めぐり事業（事業名称：「鎌倉めぐり」）

- ・内 容 鎌倉博士・大貫昭彦先生と鎌倉の自然・史跡を歩きめぐることによって、今まで気づくことのできなかつた新たな鎌倉を発見する。子ども・大学生・保護者の3つの世代がともに歩くことにより、新たな関係性の構築を目指す。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、定員を1/2にして開催。
- ・日 時 ①10月30日 ②12月12日 ③3月6日（全3回）
- ・場 所 鎌倉市内
- ・従事者人員 47人（学生・大人合計）
- ・対 象 者 小学校1年～中学校3年生とその保護者  
子ども30人 大人9人 合計39人
- ・支 出 145,593円

##### ② 芸術創作活動に関する事業

###### ア 陶芸教室事業（事業名称：「土と遊ぼう」）

- ・内 容 講師の河村喜史先生のもと、子ども・親・学生の三世代がともに作陶にはげむ。3回を通して一事業とする。最初の2時間が陶芸、残りの1時間は、子どもは学生と遊び、保護者は懇親会を行う。陶芸を通じて、1回目で「できた」、2回目で「つかんだ」、3回目で「やりぬいた」というような感動体験を得てもらえる場を作る。
- ・日 時 ※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため事業中止
- ・場 所 講師の河村喜史先生宅（鎌倉市山崎）
- ・支 出 178,958円

## イ 朗読教室事業（事業名称：「みんなで朗読」）

- ・内 容 良い文章を耳で聞き、声を出して読む事を通して、朗読の楽しさを体感する。また、日本語の美しさに対する感性や想像力、読解力を培う。朗読で扱った文学作品の解説を聞き、名作のもつ世界観を味わう。
- ・日 時 ①9月5日 ②9月26日 ③10月31日 ④11月28日 ⑤12月26日  
⑥1月23日 ⑦2月27日 ⑧3月13日（全8回）
- ・場 所 オンライン会議システム、帰源院、株式会社銀の鈴社
- ・従事者人員 100人（学生・大人スタッフ合計）
- ・対 象 者 小学校1年生～中学校3年生および保護者  
子ども：76人 大人：49人 合計125人
- ・支 出 200,634円

## ② 広報啓発に関する事業

### ア 建長寺合宿事業

- ・内 容 建長寺で大学生とお寺の生活を共にする特別イベント。心の底から楽しみながら、子どもと学生が本気になって遊び・学ぶことから、「当たり前のこと」を一所懸命、本気でやる大切さとその喜びを体感する。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、1日イベントとして2回実施。定員を1日20名に限定して開催。
- ・日 時 10月23日、11月13日（1日イベント）
- ・場 所 臨濟宗 大本山 建長寺
- ・従事者人員 80人（学生：68人・OBOG：2名・大人スタッフ：10人）
- ・対 象 者 小学校1年生～中学校3年生および保護者  
子ども：34人
- ・支 出 557,669円

### イ 妙本寺合宿事業

- ・内 容 妙本寺で大学生と一緒に、お寺の生活を行う一泊二日合宿を予定していたが、コロナ禍のためキャンプ場にて宿泊体験を実施。学童保育施設に遊びに来ている子どもたちを主な対象として、子どもと学生が本気になって遊び・学ぶことで、日常の生活では体験できない、心の底からの楽しみを経験する
- ・日 時 ※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため事業中止
- ・支 出 59,652円

### ウ 子どもの居場所づくり事業（事業名称：「休日てらこやハウス」「平日てらこやハウス」）

- ・内 容 子ども・学生・保護者がてらハウスに集まり、“本気”で遊び、話し合い、学びあう。そうして過ごす時間から、子ども自身が「やりたい！」と思うことを発見し、学生・保護者の力添えを得ながら、やりたいことを自らの力で実現できるようになることを目指す。コロナ禍のため、オンラインや近隣の公園で遊ぶ事業も開催  
2012年度からは、平日の「てらハウス」の開放も開始している。
- ・日 時 2021年4月～2022年3月（緊急事態宣言下では活動自粛）  
①休日てらハウス：屋外での活動（全17回）/オンライン（全25回）  
②平日てらハウス：屋外での活動（全43回）

- ・場 所 鎌倉市大船 1-25-23 千里ビル 3F
- ・従事者人員 ①288 人（学生：246 人・大人スタッフ：42 人）  
②165 人（学生：122 人・大人スタッフ：43 人）
- ・対 象 者 小学 1 年～中学 3 年生、高校生  
① 子ども：254 人 ②子ども：124 人
- ・支 出 ①715,733 円 ②2,585,418 円

エ 広報活動・報告書作成事業（事業名称：「鎌倉てらこや広報活動」）

- ・内 容 「鎌倉てらこや」の実際の活動及び理念を多くの人々に理解してもらうために、「鎌倉朝日」に記事を連載、「鎌倉てらこや」HP・Facebook 運営等を実施。多くの人々にてらこや活動へと参加してもらう足がかりを作る。寄付者・支援者を対象とした「てらこや感謝祭」（活動報告会・今年度はオンライン開催）の実施。
- ・日 時 ・「鎌倉朝日」 月 1 回（毎月 1 日発行）  
・HP・Facebook 運営 常時  
・鎌倉てらこやHP 運営  
・鎌倉てらこや活動報告ブログ「てらのすけが行く」運営  
・「てらこや感謝祭」（活動報告会）3 月 5 日※オンライン開催  
・「てらこや LIVE」（活動写真報告会）※新型コロナ拡大防止のため中止  
・学生スタッフ一言メッセージリレー実施
- ・場 所 鎌倉市内各所・銀の鈴社ギャラリー・鎌倉大仏殿高德院 他
- ・従事者人員 52 人（大学生：40 人、大人 12 人）
- ・対 象 者 参加登録者・発起人・関係団体の方 およそ 3,000 人
- ・支 出 0 円

オ 他団体協働事業（事業名称：「都会と田舎を結ぶ食育ネット」）

- ・内 容 学校、家庭、地域の連携のなかで子どもたちを育てる、という理念の実現に向けて、学校との連携（融合）を進めてゆく。つながりのある「食育ネット」と共同で事業を行い、鎌倉附属小学校との連携を深めていく。2021 年度は、附属鎌倉小学校での畑事業の開催及び、建長寺での日帰り 2 日イベント開催
- ・日 時 ①4 月 18 日 ②4 月 24 日 ③11 月 14 日 ④12 月 5 日 ⑤12 月 19 日  
⑥3 月 28 日・29 日
- ・場 所 附属鎌倉小学校内太陽農場・臨濟宗大本山建長寺
- ・従事者人員 71 人（大学生：79 人、大人 13 人）
- ・対 象 者 小学校 1 年生～中学校 3 年生及び保護者  
子ども：40 人 大人：18 人 合計 58 人
- ・支 出 0 円

カ ネットワーク事業（事業名称：「てらこやネットワーク」）

し、地域ごとに参加者やスタッフ（学生・大人スタッフ・子ども）の交流を図り、各地域の特色を活かし、事業の相乗効果をねらう。

- ・活動内容 ・全国てらこやネットワーク 10 周年記念式典  
・全国てらこやネットワーク総会  
・全国てらこやオンライン交流事業他
- ・場 所 オンライン会議システム

- ・従事者人員 58人（学生40人・大人18人）
- ・対象者 てらこやネットワーク参加のJC・地域の協力者の方々
- ・支出 0円

#### キ 人材育成事業

- ・内容 1. 新規大学生ボランティアの獲得のための新歓事業  
2. 学生理事の研修とチームビルディング事業  
3. 事業運営を担う学生の育成事業  
4. コアスタッフ間（大人・事務局・学生）の目的・目標の共有事業  
新入大学生のオリエンテーション事業も実施。
- ・日時 ・4～5月：新歓イベント（オンライン説明会等）の実施  
・学生イベントの実施（随時）
- ・場所 オンライン会議システム、笠間中央公園、鎌倉中央公園他
- ・従事者人員 60人（学生：48人・大人：18人）
- ・対象者 ボランティア大学生スタッフ
- ・支出 14,822円

#### ク 渉外事業

- ・内容 1. 鎌倉を拠点とする地元企業へと協力を呼びかける発信事業  
2. 行政連携を中心とした拡大事業  
3. 地域の諸団体との連携事業
- ・日時 ・鎌倉ひまわりの会・復興支援チャリティコンサートの協働（6月）  
・てらこやゼミの実施 他
- ・場所 鎌倉市内各所
- ・従事者人員 48人（学生：36人・大人：12人）
- ・対象者 鎌倉市内企業、鎌倉市内諸団体等
- ・支出 6,560円

#### ケ 復興支援事業

- ・内容 ・避難所における子どもたちの遊びと学びのケア（会津てらこや）  
・被災遺児孤児を支援する「夢のつばさプロジェクト」への協力  
以上を「全国てらこやネットワーク」と連携して実施
- ・日時 ※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため事業中止
- ・場所 福島県会津若松市、鎌倉市内
- ・支出 200,000円

#### コ 出向事業

- ・内容 鎌倉市の学童保育施設16か所（各こどもの家・放課後かまくらっ子）及び民間学童ふかふかへ、大学生を派遣している。「てらこや」本体の事業から飛び出して、地域の中にも子どもたちや保護者と大学生という3世代が関わることによって生まれる「よき人との出会い」及び「感動体験」が育まれていく環境を作る。  
また、子ども会館だけでなく、今泉小学校で実施されている稲村ガ崎小学校の「稲小らんらんスクール」にもボランティア参加。
- ・日時 2021年4月～2022年3月毎週各会館1回ずつ開催（全233回）  
（緊急事態宣言下では活動自粛）

- ・場 所 大船こどもの家・山崎こどもの家・富士塚こどもの家・関谷こどもの家・今泉こどもの家・玉縄こどもの家・西鎌倉こどもの家・小坂こどもの家・第一こどもの家・深沢こどもの家・植木こどもの家・七里ガ浜こどもの家・二階堂こどもの家・御成こどもの家・稲村ガ崎こどもの家・腰越こどもの家・ふかふか
- ・従事者人員 大学生スタッフ：504人
- ・対象者 各学童施設、大船（100人）・山崎（100人）・富士塚（40人）・関谷（40人）・今泉（40人）・玉縄（80人）・西鎌倉（60人）・小坂（100人）・第一（60人）・深沢（100人）・植木（40人）・七里ガ浜（30人）・二階堂（30人）・御成（100人）・稲村ガ崎（30人）・腰越（40人）・ふかふか（20人）  
に通うに通う小学生
- ・支出 2,585,418円